慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	自己と他者 : 相談室来談者近況報告
Sub Title	A self and others : counseling room reports
Author	小川, 芳子(Ogawa, Yoshiko)
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1990
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.35 (1990.) ,p.1- 14
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	原報 挿表
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000035-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

共立薬科大学
Ann, Rept. Kyoritsu
Coll. Phrm.

自 己 と 他 者

―― 相談室来談者近況報告 ――

小 川 芳 子

A Self and Others

―― Counseling Room Reports ――

Yoshiko OGAWA

I would like to report on the situation client at my counseling room for 9 years from 1981 to 1989. The clients in a year were about 100 people which was 10% of all students.

Acording to my experience, April to June is large clients number in a year. Because the freshmen have to take Personality Test in April so that there are many clients who want to hear the results. And besides in the beginning of year anybody expected new college life, but then they felt anxious about it.,

The recent features of counseling are as follows;

* In the counseling on their lives which cause less discpline of social lives problemes, such as prank calls, catch sales, inducement of religion are increased.
* There is eating disorder for physical problems.
* There is psychological problems that having relationship with others is annoyed. This is not compulsive personality. The people who can not allow other to have different tastes and believe they are only right persons are increased.

1. はじめに

学生相談室の現況報告を久しく滞らせ9年分が堆積してしまった。これをここに報告すると同時に近年問題視される学生について考察する。

来談者数が増加しているわけではないが、1度かかわりを持った学生は卒業までの期間あるいは卒業後も断続的にではあるが暫く関係を持ち続けることも多い。1回の面談で終いという単発的かかわりが減少している。

相談室に来ることは出来れば避けたい人が多い。来るのはよほどひどい状況と言えなくもないが、1度来てしまえば後はエネルギーの補給にやって来るという気軽な付き合いに移行していく、お互いが卒業生という気易さからかもしれないと自負している。

2. 来談者実数（表1～9参照）

表 1　1981年 来 談 者 数

	相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	学業・進路		1											1
	生活		2	3	1		2	1	1	2			1	13
	身体的問題	1												1
	心理的問題	1	2		1		1	2		2			1	10
	性格			65	5			1		1				72
2年生	学業・進路													0
	生活		2	2				1	1					6
	身体的問題													0
	心理的問題													0
	性格													0
3年生	学業・進路		1							1	1		2	5
	生活	3	2	1	1		1	1	1	1	1	1		13
	身体的問題													0
	心理的問題	2	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1		15
	性格													0
4年生	学業・進路	4		1	1	3	21	13	3	4	2	5		57
	生活	3				1						1		5
	身体的問題													0
	心理的問題												1	1
	性格													0
卒業生その他	就職・進路		1					3					1	5
	生活		1				1							2
	身体的問題													0
	心理的問題													0
	性格													0
	その他													0
計		14	14	75	10	5	27	23	7	12	5	8	6	206

表 2　1982年 来 談 者 数

	相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	学業・進路		1											1
	生活													0
	身体的問題		3					2						5
	心理的問題		1	1	1			2				1	1	7
	性格			5	3									8
2年生	学業・進路													0
	生活													0
	身体的問題			1										1
	心理的問題			1										1
	性格													0
3年生	学業・進路													0
	生活	1						1	1				1	4
	身体的問題								1					1
	心理的問題	1	2	1					2	1	1		1	9
	性格													0
4年生	学業・進路	7	12	12	9	1	4	2				1		48
	生活													0
	身体的問題													0
	心理的問題	2												2
	性格													0
卒業生その他	就職・進路	2	2	1			1					1		7
	生活													0
	身体的問題													0
	心理的問題	1												1
	性格													0
	その他	1	1											2
計		15	22	22	13	1	5	7	4	1	1	3	3	97

表 3　1983年 来 談 者 数

	相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	学業・進路			1				1			1			3
	生活			1										1
	身体的問題													0
	心理的問題		1			1	1	3	1	1			1	9
	性格		3	5	1									9
2年生	学業・進路							4						4
	生活													0
	身体的問題													0
	心理的問題													0
	性格													0
3年生	学業・進路													0
	生活						1		1					2
	身体的問題								1					1
	心理的問題			1		1	1							3
	性格													0
2年生	学業・進路	5		1			2	1		1	2		3	15
	生活													0
	身体的問題				2			2		1				5
	心理的問題		2											2
	性格			1										1
卒業生その他	就職・進路	1											1	2
	生活													0
	身体的問題													0
	心理的問題		1			1								2
	性格													0
	その他													0
計		6	7	10	3	3	5	11	3	3	3	0	5	59

表 4　1984年 来 談 者 数

	相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	学業・進路													0
	生活	1										3		4
	身体的問題	1		1										2
	心理的問題		1								1			2
	性格		2	8										10
2年生	学業・進路	1												1
	生活	1	1	1				1	1	1				6
	身体的問題													0
	心理的問題													0
	性格													0
3年生	学業・進路												3	3
	生活													0
	身体的問題								1					1
	心理的問題				1		1							2
	性格													0
4年生	学業・進路	1	7	1			1	2	1		1	1	1	16
	生活													0
	身体的問題													0
	心理的問題							1			1			2
	性格													0
卒業生その他	学業・進路			1			1		1	1	2	2	1	9
	生活													0
	身体的問題											1		1
	心理的問題		2	1				1	1		1	1		7
	性格													0
	その他													0
計		5	13	13	1	0	3	5	5	2	6	8	5	66

表 5　1985年 来 談 者 数

	相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	学業・進路	2	1	1			1							5
	生活	1	1	1						1				4
	身体的問題			1		1	1				1			4
	心理的問題	1									1			2
	性格	2	5											7
2年生	学業・進路													0
	生活													0
	身体的問題				1							3		4
	心理的問題	1		3	1							1	1	7
	性格													0
3年生	学業・進路				2			3	3		1			9
	生活			1										1
	身体的問題	1												1
	心理的問題													0
	性格													0
4年生	学業・進路	5	2						1	1	1	2	1	13
	生活													0
	身体的問題			1		1								2
	心理的問題					1								1
	性格													0
卒業生その他	就職・進路	3	2	1				2						8
	生活	3	1				1	1						6
	身体的問題													0
	心理的問題			1	2		1			1	1	1		7
	性格													0
	その他	1		1			1	1						4
計		20	12	11	6	3	5	7	4	3	5	7	2	85

表 6　1986年 来 談 者 数

	相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	学業・進路		1		1									2
	生活										1			1
	身体的問題			1	1									2
	心理的問題		1	1	1	1			1					5
	性格	2	6	1	1				3					13
2年生	学業・進路	1		1			1	1						4
	生活			1										1
	身体的問題										1			1
	心理的問題			1			1	1						3
	性格													0
3年生	学業・進路	1	1								1			3
	生活										1			1
	身体的問題						1							1
	心理的問題	3	2	1	1						1			8
	性格							1	1	1		1		4
4年生	学業・進路	1	3	1	1					1	1	3	1	12
	生活													0
	身体的問題							1						1
	心理的問題			2			1			1	1		2	7
	性格			1										1
卒業生その他	就職・進路		1		1			1						3
	生活					1				1	1			3
	身体的問題													0
	心理的問題	1	1	2	1	1	1	1	1		1	1	2	13
	性格													0
	その他								4	1	2			7
計		9	16	13	8	3	5	6	10	5	11	5	5	96

表 7　1987 年 来 談 者 数

	相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	学業・進路													0
	生活			1										1
	身体的問題													0
	心理的問題				1		1	1	1	1	1	1		7
	性格	1	7	1										9
2年生	学業・進路						17					18		35
	生活				1							1		2
	身体的問題													0
	心理的問題	1	1	1	2		2			1	1		1	10
	性格											1		1
3年生	学業・進路				2					3				5
	生活													0
	身体的問題				1	1								2
	心理的問題			1					1					2
	性格													0
4年生	学業・進路	4		9		1	2		1				1	18
	生活													0
	身体的問題							1	1	1	1			4
	心理的問題			1					4	1			2	8
	性格						2							2
卒業生その他	就職・進路										1			1
	生活						1						1	2
	身体的問題													0
	心理的問題	1			1	1	1		1	1		1		7
	性格													0
	その他				1					1	2			4
計		7	8	14	9	3	26	2	9	9	6	22	5	120

表 8　1988 年 来 談 者 数

	相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	学業・進路													0
	生活													0
	身体的問題	1												1
	心理的問題		2	1	1		1							5
	性格		6	3			2							11
2年生	学業・進路													0
	生活		1											1
	身体的問題													0
	心理的問題							1						1
	性格						1							1
3年生	学業・進路					1			4	1		1		7
	生活	1					1	1						3
	身体的問題		1				1		2					4
	心理的問題	1		1	2			1	2	1	2	2	1	13
	性格													0
4年生	学業・進路		3		1			1		1		1		7
	生活													0
	身体的問題													0
	心理的問題	3	2	1	2									8
	性格													0
卒業生その他	就職・進路	1		2	1	2				1	2			9
	生活		1	1						1				3
	身体的問題													0
	心理的問題	1		1					1					3
	性格													0
	その他				1									1
計		8	16	10	8	3	6	4	9	5	4	4	1	78

表 9　1989年 来 談 者 数

	相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	学業・進路													0
	生活													0
	身体的問題													0
	心理的問題										1	1	1	3
	性格		5	1							1			7
2年生	学業・進路				1									1
	生活													0
	身体的問題									1				1
	心理的問題											1		1
	性格													0
3年生	学業・進路			1					5	3				9
	生活			1										1
	身体的問題													0
	心理的問題													0
	性格													0
4年生	学業・進路	6		1				1	1			1		10
	生活									1				1
	身体的問題													0
	心理的問題	2	2		2	1	2	1	1	1	2	1	1	16
	性格	1												1
卒業生その他	就職・進路	1			1	1	2	2			1	2		10
	生活													0
	身体的問題													0
	心理的問題	1		1						1				3
	性格													0
	その他													0
計		11	7	5	4	2	4	4	7	7	5	6	2	64

4月から3月までの月別来談者数は表1～9の通りである。1人の来談者とは週1回1時間ずつを原則として面談をする。1回で終わってしまうこともあるし、何年と続く場合もある。月別という集計をするために1ケ月に何回逢っても同一の人は、1と数え次の月にまた1と数える方式で集計を行なった。この集計の仕方はそれぞれの大学で出されている相談室報などを参照してみたが、大学独自のやり方でこれと定まったものはない。著者自身、前報ではもっと詳しい分類としたが、慣れもあり他の仕事面での繁忙さも手伝って毎回の記録を怠ったことはいがめず、詳しい分類が出来なかった。ここではとりあえず内容面で、5つの範疇に分類しそれぞれの月と合計という形での集計とした。

分類内容は次の通りです。

〔学業・進路〕

再受験・転科希望・卒論選択・病院実習選択・就職・大学院・カウンセラー希望等

1年生では再受験、転科希望者等がここに含まれるが、3年生となると卒論選択病院実習の相談となる。3年後期から4年後期となると就職相談となる。卒業生からは再就職・トラバーユの相談となる。企業に勤めて5年位の卒業生がこのままで良いのか迷いを感じてと相談につぎつぎ訪れた時期もあった。

〔生　活〕

アパートでのトラブル（いたずら電話・入居をめぐって・キャッチセールス)、家庭内のトラブル・奨学金相談・盗難・宗教の勧誘等

1人で生活を始めた学生にとって思わぬトラブルに巻き込まれてしまうことがあったり、家庭

から通っている学生の兄弟や親が問題を抱えていることもある。どちらかというと助言的色彩の濃いカウンセリングとなることが多い。ときには消費生活アドバイザーや、弁護士の先生に紹介して解決を依頼したこともある。

〔身体的問題〕

婦人科相談・過食・その他（微熱・眠れない・だるい・疲れる・美容上の悩み）

身体的トラブルであれば保健室に行くのが普通であろうが相談室に来てしまうのは、次の〔心理的問題〕であることを自分で心得ているものを含んでいる。過食の相談とか眠れないなどはまさしくそれで精神科を紹介することもある。秘密を守って聞いて欲しいというニュアンスを持つのが婦人科の問題でこれも専門医に回すことがある。

〔心理的問題〕

勉強が手に付かない・何もする気がしない・対人関係がうまく取れない（友達に嫌われている・付き合いがうまく出来ない）・不安が強い（未了単位・将来のこと等）

ここに含まれることは相談室で一番取り扱うべきことと考える。そして不適応状況と判断されて担任や友達が相談に来るのもこの範疇の人についてである。よってこの部分に焦点をあわせてあらためて考察を加える。

〔性　格〕

YG テスト・バウムテストの判定希望・その他心理テスト希望

性格テストとして 1 年生に YG テストとバウムテストを、4 月身体検査時に実施している。コンピューターで判断された結果を 5 月始め頃返却する。返却されたものを見て質問に来る学生がいるわけだが、こちらの声のかけ方で来る人数は変動が激しい。始めは沢山来て欲しいと思って誰でも声掛けをして疑問点を作った対応をしていたが最近は、他の面での忙しさにかまけて、授業の際判定結果の読み方を説明し、これを聞いた人は聞かなかった人にも教えるように指示しておくと、直接来る人は特別問題を抱えている人だけとなった。2 年生以上の場合は、改めて自分を見直そうという場合が多いし、4 年生では就職試験に備えて、テストを希望して来たりする。

〔卒業生欄のその他〕

国試の受験について・薬や化学に関する質問・聴講など大学での学習に関する問い合わせ

卒業生については〔学業・進路〕とは少し違うと思われる上記事項等をまとめて、その他の項目を設けた。指示的な回答を求めて来るものがほとんどで調べて回答する、あるいは担当者を紹介するという窓口となっている。

3. 近年の傾向

昭和 51 年に相談室を開設し、51～55 年までの 5 年間の集計は共薬年報 No. 26（1981）に報告した。その際のものとの比較を加えながら表 1～9 より最近の相談内容についての特徴を次に述べる。

(1) 来談者数について

1981～1989 年の来談者数をグラフにした。Fig. 1～5 は学年ごとの合計で Fig 6 は全体数である。1981 年が多いのはこの年の 1 年生は〔性格〕への来談者が多いからである。これは前述したように性格テストの結果を「聞きにいらっしゃい」と指示していた。

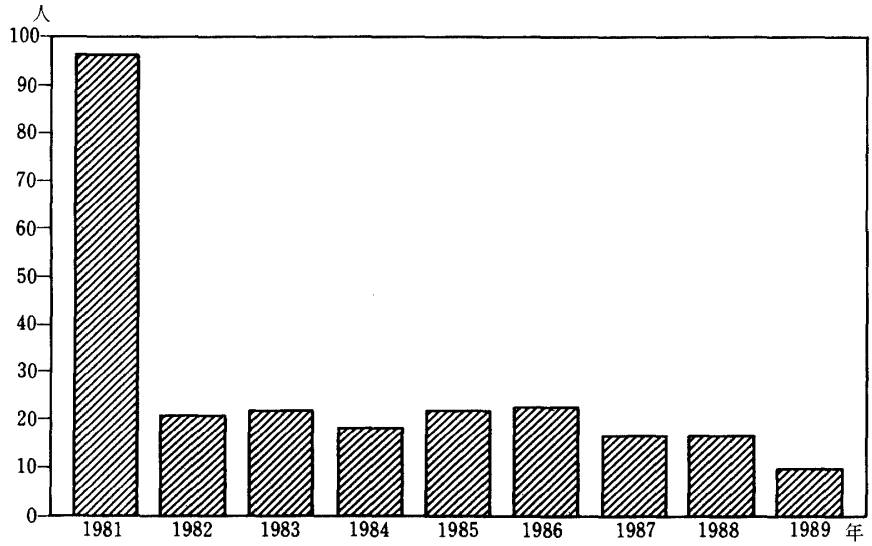

Fig 1.　1年生来談者

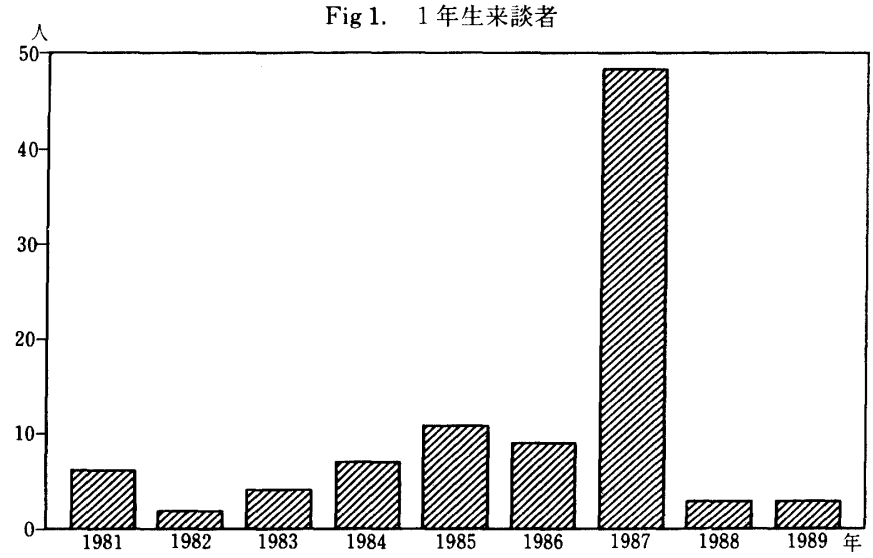

Fig 2.　2年生来談者

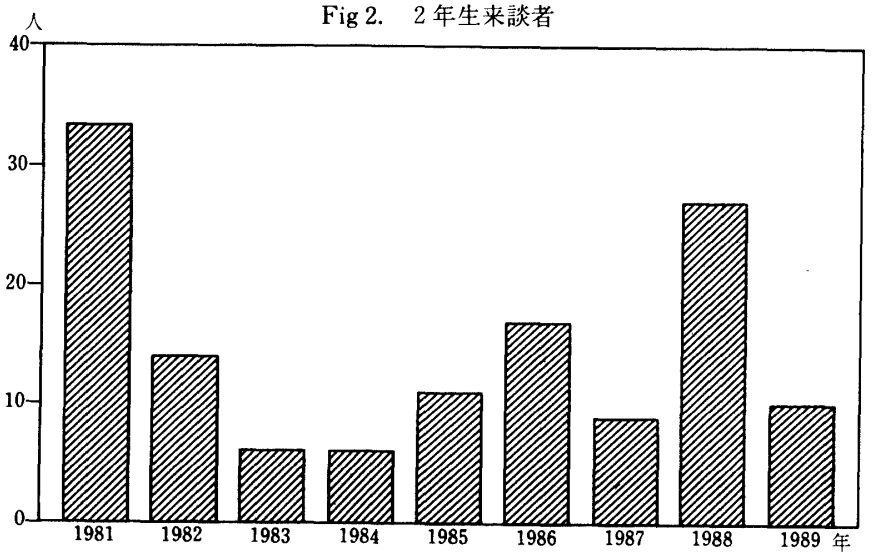

Fig 3.　3年生来談者

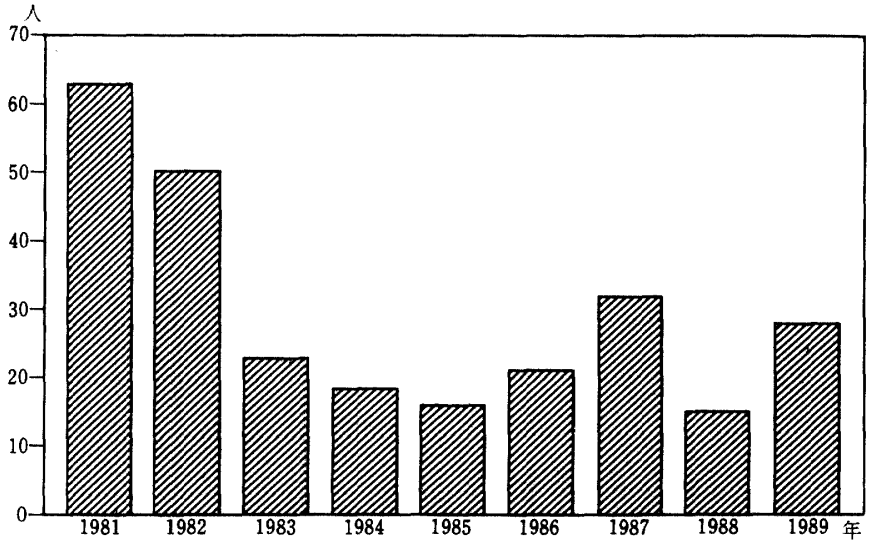

Fig 4.　4年生来談者

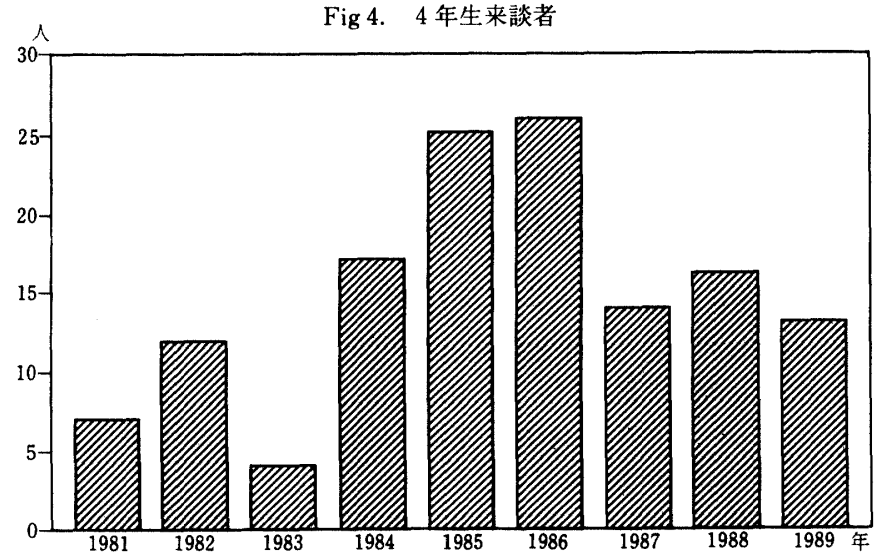

Fig 5.　卒業生その他の来談者

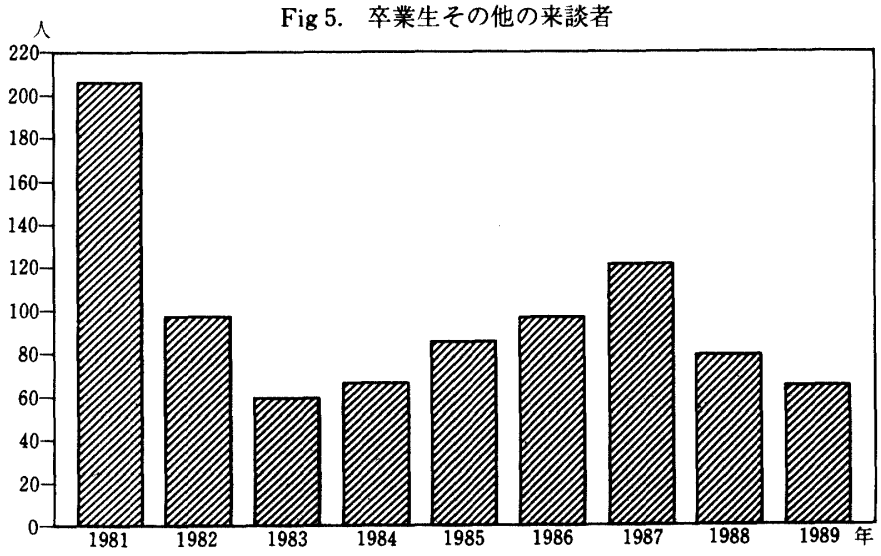

Fig 6.　全 来 談 者 数

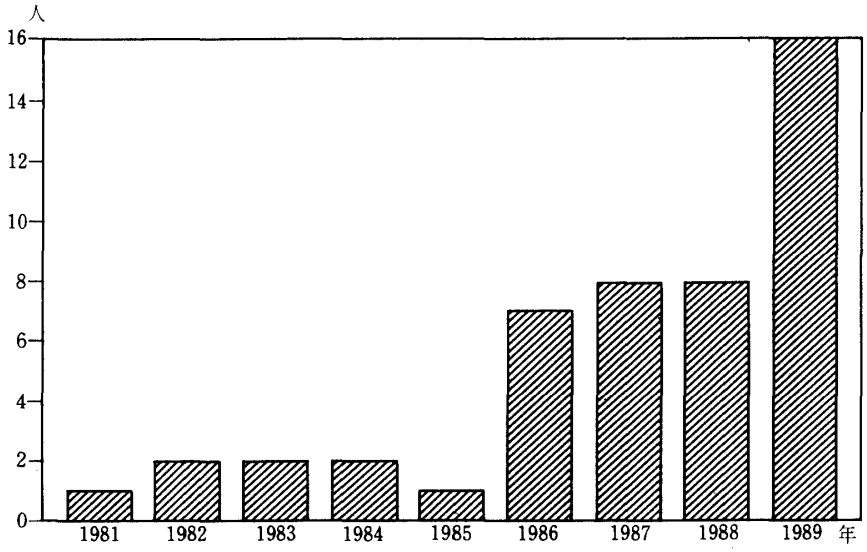

Fig 7. 4年生心理的問題来談者

1987年にもう1つの山があるのは、この年2年生の担任を引き受けたことで呼び出し面接も含めて2年生の来談者が増えたためである。

以上の2年間をはずすと問題を抱えた学生が増加しているかどうかはこれだけの資料で語ることは出来ない。

4年生が、最初の頃多いのはカウンセラーが就職に直接かかわりのある職域に関与していたからである。受ける側の状況により来談者数は非常に変動を受ける。

問題を抱えている〔心理的問題〕を主訴とする学生の数を見るとFig 7の通り4年生が明らかに増加傾向を示している。これは国家試験、卒業を目前に控えた幼児性を残した学生が不安が先にたち現実を直視できず問題行動に走ってしまうからである。

全体の学生数は、1000人以内の小規模大学であれば100人程度の来談者の相手をするのは妥当な数だと思われる。前述した通り1か月単位の集計であるため、1回で終わる人もあるが何年も続く人もある平均2回とすると50人、他校の例を見ても学生相談室の利用率は全学生数の5%以下である。

(2) 月別利用状況

4月から6月までは毎年利用者が多い。性格テスト結果を聞きに来る人があるから数の増加は当然であるが、1年生は、再受験をしたいがとの相談は殆ど毎年のことであるし、4年生になると就職に対する不安がいつも聞かれる。年度が変わることで希望の反面不安もあり誰かに聞いて欲しいとの気持ちを持つものであろう。

その他の月に関してはだいたい平均して、多いところにはそれなりの理由がある。前報では9月が4年生に多くなっていたが10年前には、就職を決めようとする4年生は、9月に活動を始めて間に合ったが、最近は、もっと早い時期から活動が始まるため9月に相談を受けるのはまれとなった。それと就職関連の役職からはずれたことも関連している。

また学内の前期定期試験の時期が9月から7月になり9月はまだ夏休み期間になっている日数が多いことも来談者数の減少している一因である。

(3) 相談内容に見る傾向

A. 生活面・トラブル

相談内容の〔生活〕はかつては親子関係など家庭内に起因する問題が多かったが、最近は、社会との関係で引き起こされる問題が多くなっている。例えば、キャッチセールスにひっかかった。宗教の勧誘がうるさい、いたずら電話に悩まされるといった外からの働きかけがあって起こる問題である。ある意味では本人の社会に対する訓練不足で，話をしている間に自分で取る行動をかえればいいと気付くこともあるが、当面の実害を伴う場合学生という守られた環境の中、あるいは未成年であったりすればなおさら責任の回避を専門家に頼ることでうまく処理できることが多い。そこで、弁護士あるいは、消費生活アドバイザーの方に処理をお願いしたり、低学年の学生に講義をして頂いたりした。この手の相談はここ2～3年減少して来た感もあるのは、講義の成果があがって語り継がれて来ているのかもしれない。

B. 身体的問題

身体的問題として前報では、婦人科のみを問題としたが今回は過食、拒食、という摂食障害が何名か見られた。時代の流れか、社会が今問題にしていることがここにも現れているのだという思いに駆られた。特に顕著な摂食障害が見られた2名は休学して入院治療を受けた。

一般的に摂食障害の予後はあまり芳しくないといわれているが、どちらも無事卒業し今はそれぞれの生活を築いている。過食になったKさんは高校時代60 kgの体重が78 kgまでなったというが、食パン2斤菓子パン12個冷蔵庫の野菜を全部食べてアイスクリーム6個も一時に食べてしまう。これでお腹が何ともないことが信じられないが、家中の食品全て空にしないと気が済まない、常に食べ物のことだけを考えている、下宿生活の寂しさが、このような行動を助長させていたとも思えるが、自分自身を律していく力が育っていないために小さな挫折がきっかけとなって病と呼ばれる状態まで進んでしまったといえる。摂食障害は女性に多く発生する病気で、完全壁を持つ若い女性が、仕事と女性性の両面での成就を追い求め破綻を来たすのが原因とみられている。これほど病的な進行はなくても、一時的に異常行動に走る例は日常的に聞かされることもある。かなりの学生の将来像として専門職を持つ母親を目指すものが多い本学では、これからもこの病に陥る方が、あっても不思議ではない。

C. 心理面での問題

心理面と捉えた来談者数はFig. 7に示したとおり、学生別に見ると4年生に増加傾向がある。

内容的にみると勉強が手に付かない、クラブ内の問題解決がうまく出来ない。未了単位のこと・将来のこと・彼のことなど何でも今見ることが出来ない事柄について不安でたまらないといった、強迫傾向を持った人の相談がある。自分から来るばかりでなく友達や親、担任といった人々がどうも様子がおかしいがどうすれば良いのかと相談を持ち込まれることもある。

若い女性だからこそとも思えるが、人との関わり方についての話題がここでは本当に良く出て来る。勉強が出来ない、との主訴であっても話していくうちに他の人が資料を見せてくれないから勉強できない、自分の資料をみんなが欲しがって持っていってしまう自分で使おうと思う時にない、断ることが出来ない、といった人との関係が本来の悩みである。

他者に対して、対人恐怖という範疇で苦しんでいる人のいることは、これまでも良く聞かれた。他人の視線が気になって何も出来ない視線恐怖、すぐ赤くなってしまうのではないかと気に

なる赤面恐怖、ところがこれとは少し違ったタイプで他人との関係がうまく取れないのだが、特に他人が気になってとばかりはいえないような人々が増えて来た気がする。学習院大学学生相談室報告（1989）に管野が「他者感覚の不在」と題して述べているがこれだと確認する思いを抱いた。

特に他人が気になるというより他人とうまくいかないことが悩みでありながらこれは他人が悪いからで自分はいつも正しいと思っている学生3人を紹介する。

◇Aさん

主訴‥‥生理になると発作のように苦しむときがある。私は何でこんな苦しい思いをしなければならないんでしょう。

発作のような苦しみが襲うのがいつもではなく、何か心配事があるとひどくなる。一応心配なので体の面からの診察を大学病院に勧め、行ったが特に悪いところはないとのこと、漢方薬を処方されて飲むようになった。風邪で休むこともままある。

発作の前の心配事は試験であったり、将来のことであったり、親と衝突した後であったり、クラブの取りまとめが出来ず焦っている時だったりする。面談日を決めてもなかなか守られず、といって忘れているわけではなく連絡はちゃんと入れる。自分が話したいと思うと寄るという形が多い。

彼女は完全主義的で、自分が思っいることは、他人もそう思うのが当たり前、他の考えがあることが許せない。違う考えを持つ全ての相手は悪い。

これだけの量の勉強が終わらなければ試験は受けられない、と所定の量の勉強が出来ていないときは、うまく病気になる。クラブの練習も自分は一生懸命に練習した、だから他の人も練習していなければいけない。練習時間に遅れる人を怒る。クラブの中でも浮いた存在になっているようだった。自分が休むのは、病気であり正当なことだが、他の人のはさぼりで許せない。彼女にとってロールテイキング（役割り取得）の発達形成がなされていないのである。年令が12才離れた姉がいるが、水平性を持てる関係はない。欲望が相克する関係の中でどう処理すれば良いかといった他者の気持ちを組む訓練をするするわけだが、姉との年齢差が大きくその訓練体験に乏しい。何をすれば他者が嫌がるか、喜ぶかがわからない。道を歩いていきなり手を握ったりするのでうっかり一緒に歩けないといった同級生からの反感を買ったりするのである。

親は自分の欲望を必ずしもかなえてくれない。どうすればかなえられるかを学ぶ相手ともなりえるが、親子という上下関係はしっかりある。特にAさんの場合両親が50才近くになって生まれた子供のため、Aさんには親に逆らうのは老人をいじめるようで出来ないという気持ちがあり自分の欲望の処理を相克できる相手とはなりえない。

◇Kさん

主訴‥‥友達が悪口をいう、勉強が手に付かない。

薬科大学は、覚えなければならないことが非常に沢山ある学科であり、そのための資料作りなどお互いにコピーしあったり、分担して資料集めをすることが、学生生活を楽に楽しくする秘訣の一部ともなっている。

そんな中で、友達がまるで出来ないKさんはこんなつまらない大学はない、大学が悪いと

散々文句をいい結局退学していった。

Kさんにとって友達が出来ないのは周りが悪い。資料を貸してくれない友達は悪い。自分が使おうと思う資料を貸してくれという友達も悪い。それなら出来るところまで一人でやって友達を一切頼りにしないようにするのはどうかしらというと、そうするとみんなが私の悪口をいう、許せない。試験前から休みだしそのまま来なくなってしまった。Kさんの兄弟は中学生の弟が一人いるが、姉弟とも小さいときからいじめられっ子だったようだ。育つ環境にうまく適応できない状況があったのであろう。

◇Yさん

主訴‥‥勉強するのもいや。何も出来ない。生きているのもいや。と落ち込みが激しく、親が連れて来る。

鬱状態が激しく病院で治療を受けた。その後劇的とも言える変化を見せ、そう状態になった。そう状態で勉強の方はどうにか試験も受かり発病時期が遅かったこともあり卒業したが、そうになると自分は何でも出来ると思ってしまう。出来ないのは、周りが悪い、他者が邪魔をしているのであり、他人のせいにしてしまうことは、天才的とも思えるほど上手な理由が生まれる。Yさんはひとりっ子であり父親はYさんが可愛くて怒ったこともないやさしい人である。Yさんの欲望を押さえるのは母親だけであるが、母親にしてもたった一人の子供がどうかなっても困るので最終的にはわがままを聞いてしまう。

3人の例をあげてみたが、これら3人に共通することは自分はこうと思ったことは、容易に、違う考えがあることは受け入れられない。他人がどう思うかを推し量ることが出来ないので、話をするとき話しまくるといった感じで、他人が言葉を入れることが難しい。

他人が悪いという悪口であってもじっくり飽きずに耳を傾ける。もう話すことがないというまで話したところで「あなたも大変だわね」とか「苦労するわね」といった言葉で彼女達をねぎらうとふっと彼女達の目に涙が溢れて来たり、話が出来なくなったりという状況が生まれたりする。こうなったときが一番カウンセラーにとって嬉しい時であるが、こういう状況になったからといって、他者を簡単に受け入れられるように人が変わるわけではない。張り詰めていた糸を一本切るぐらいの価値であろう。次に逢った時には、始めて聞く話の思いで自分をのめりこませていく。人が変わるには、その人が20才であれば20年の年月が必要だといわれるほど時間がかかるものである。

一時代前の世代であれば、同胞関係が比較的豊富で兄弟の中で自分の取る役割りを学ぶことが出来た。ある次元では水平線上に並び、ある次元では上下関係も体験出来る。その中で自分の欲望のだし方、押さえ方を学んだ。現代においては、平均同胞数は1.7人といわれるほど減少している。2人の兄弟では、男女間、年齢差などが生じれば1人っ子と同じ環境となることはいくらでもある。保育園・幼稚園などで他者関係を学ぶ機会はあるわけで必ずしも1人っ子だけが良いとか悪いとかの問題とは違う。保育者が常に欠点を補う状況に心を配っていることが必要なのである。不幸にして他者関係の学習をして来なかった何人かが、大学の相談室で再学習を余儀なくされているわけであるが、時間のかかるつらい作業である。学問への道の障害になることも多いので出来れば低年齢時に学んで来て欲しいものである。

4. ま と め

学生相談室の来談者 1981～1989 年の報告である。

1 年間の来談者数は 100 名程度である。月別集計としたため、月毎に来室した人数を集計、1 回で終わってしまう相談、何年も続く相談もある。平均 2 回とすると全体の人数は、50 名位であろう。学生総数の 5 %以下が他校の例でも多く妥当の人数である。月別にみると 4～6 月に来談者が多い。4 月に性格テストを実施するためにその結果を聞きに来る学生数が増加することも一因であるが、新学期は誰でも新しいことへの希望と同時に不安もいだきやすいものである。

最近の相談内容の特徴は次の点に見られた。

(1) 生活面で、キャッチセールス・いたずら電話・宗教の勧誘といった社会生活の訓練不足から引き起こされる実害を伴なう相談が増加し、弁護士・消費生活アドバイザーといった人々の協力を得て問題解決をした。しかし、この 1・2 年漸く減少傾向が見えて来た。

(2) 身体的問題として、摂食障害が見られた。予備軍と思われる人も多いのでこれからも付き合っていかなければいかない相談内容である。

(3) 心理的問題として、主訴は勉強が手に付かない。何も出来ないであっても話を聞くうちに必ずといっていいほど他者関係が出て来る。だからといって一時代前に多かった強迫傾向が多いのではない。他人は気になるが怖いのではなく、他人は自分を脅かす悪い存在なのである。自己と他者という同レベルでの存在が許せない。自分は世界の中心であり他者は自分に仕える存在でなければ存在を許されない。このような人が増加傾向にある。

参考文献

1) 小川芳子：「学生相談室の利用状況に見る学生像」共立薬科大学年報，1981
2) 管野泰蔵：「他者感覚の不在」学生相談室報告第 13 号，1989
3) 有田悦子：北里大学薬学部学生相談室活動報告書，2，1990
4) 清水幹夫：「都内 4 年生私立大学学生相談室の実務担当者に関する質問紙集計結果」東京農業大学学生相談室報，1989
5) 「学生相談室報告書」東京経済大学学生相談室，1989
6) 「K.G. カウンセリング年報」関西学院大学カウンセリングルーム，1988
7) 「学生相談室報告書」京都産業大学学生相談室，1988
8) 「学生相談室報告」女子美術大学女子美術短期大学，1989